

1. 松戸市内小中学校の児童・生徒指導の現状

いじめの現状

	認知件数	解消率
小学校	5,940 件	54%
中学校	1,100 件	43%

※令和元年 12 月末現在
※解消の条件は 3 ヶ月いじめ行為がないこと

重大事態の件数

調査主体	松戸市	全国
H 学校	1	602
30 設置者	1	105
R 学校	4	
1 設置者	1or2	

※全国（政令市、市町村、特別区）

保護者の反応

いじめと感じたらいじめと認知。そこに加害者が存在する。保護者の焦りと不安が急速に高まってくる。

↓

加害側児童生徒の保護者の怒り

↓

- ・保護者同士の激しい対立
- ・学校や市教委に向けた怒り

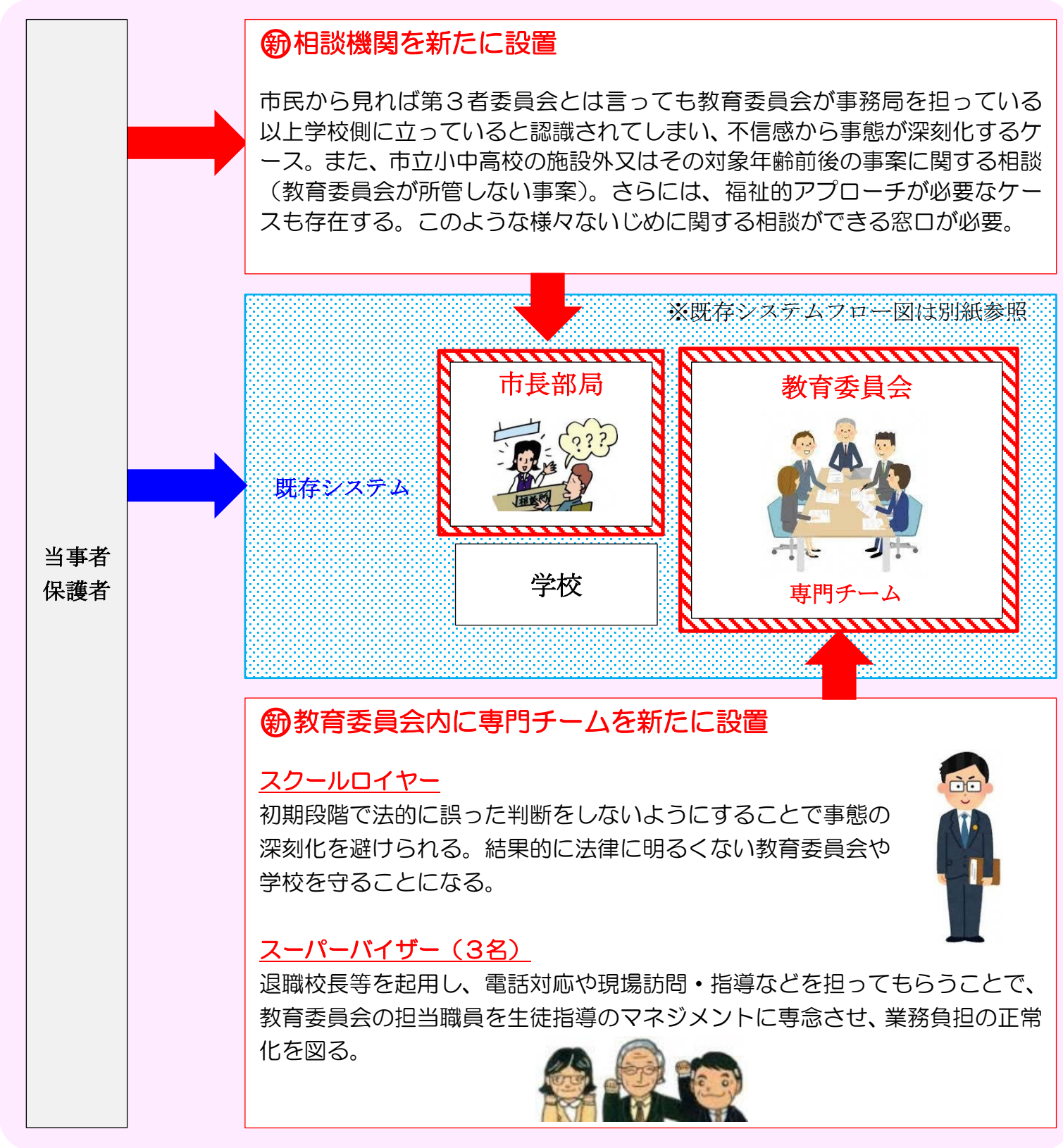


いじめ調査 及び 対応時間の現状

学 校… 1 年間を通して、週 2 回の会議。毎日の電話対応。家庭訪問。
対応者：校長、教頭、学年主任、担任、養護教諭、生徒指導主任の 6 名も係わる

教育委員会…いじめ防止対策委員会会議で 1 案件に要する開催回数 1 3 回（H30 年度実績）
毎日、保護者等との長時間にわたる電話対応。学校・家庭訪問
対応者：課長、生徒指導担当職員 5 名

2. 現状に適合したアプローチが出来るシステム構築



3. 新たなシステム構築による効果

- ① いじめ解消率の引き上げ

H30 年度末 ④68.6% ⑤62.8%

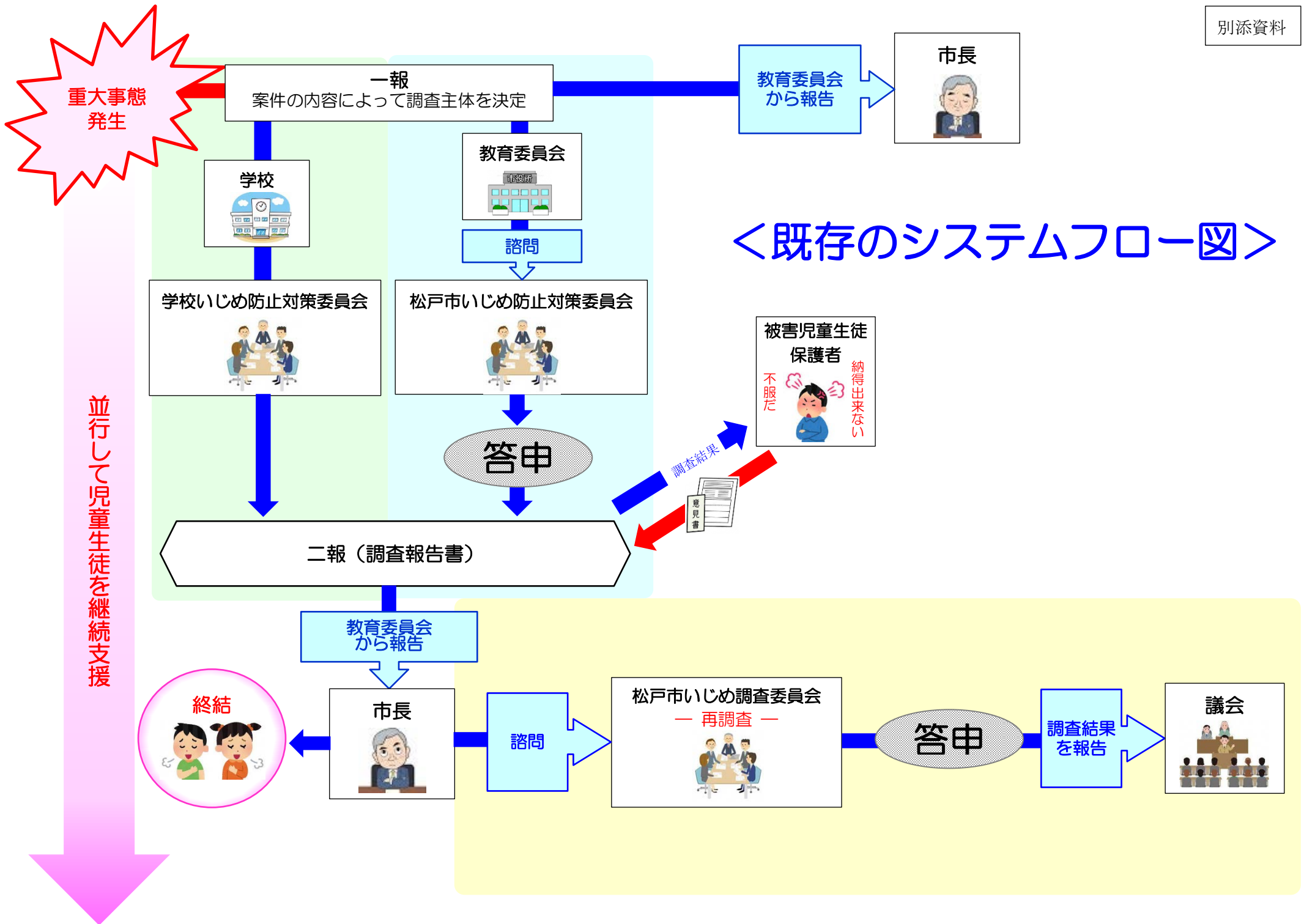
↓

目標：年度末 80% 解消

② いじめ深刻化への学校対応時間の減少

→先生方の教材研究の増加
→市教委指導主事の学力向上研修・学校への指導増加

⇒安全・安心な学校として信頼度 UP!
⇒子供一人一人の学力 UP!



子どもたちを取り巻く
諸問題が増えていく。



いじめ等



幼児教育



“教育”はもう、教育委員会だけの聖域ではない。
社会が刻々と変化しているなか、市役所や教育委員会の
セクションが複雑に連携しないと解決できない
課題が増えている。
これまでの「教育委員会」という
くくりは必要ですか？

例えば...こうしてみてもは？

教育委員会



市役所



子どもと教育に係る
総合的な組織と
これまでに捉われない
セクション編成

